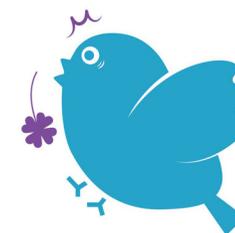




クリニックからのお知らせ

発行： てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-16
Tel.045-471-1082

てんかん外来でよくあるご質問にお答えします。



Q：発作がありました。どうしたらよいですか？

A：けががあったり、発作が止まらなかったり、いつもと違う発作だったりなど、緊急の場合には救急車を呼んでください。当院は救急対応は行っていませんので、発作時には救急隊の手配する救急病院を受診してください。緊急ではない場合でご心配な時には予約を早めて当院を受診してください。お電話やメールでの相談はお受けしておりません。

Q：予約日までお薬が足りませんか？

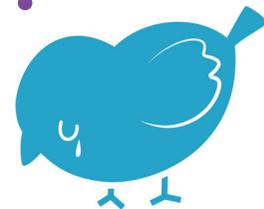
A：お薬は処方箋の通りにお飲みください。自分の判断で（お薬を節約して）少ない量にしてしまうと発作が増えたり、強くなったりすることがあり危険です。お薬がなくなる前に、予約を早めてご来院ください。日頃からお薬は多少の余裕があると安心です。また、当院をまだ受診していない方で、初診の予約日までお薬が足りない場合には、これまでかかっておられたクリニックや病院で十分な日数のお薬をもらうようにしてください。

Q：（風邪などで）他のお薬が出されました。てんかんのお薬も一緒にのんでいいのでしょうか？

A：基本的には一緒にのんでください。他のお薬が出たからといって、てんかんのお薬をのまないようにすると、発作が増えたり、強くなったりすることがあり危険です。しかし、時にのみ合わせの悪いお薬もありますので、他のお薬を処方された時には、てんかんのお薬を飲んでいることを医師、そして薬剤師にしっかり伝え、お薬同士のみ合わせを確認してもらってください。

一部のてんかんのお薬が不足しています！！

2022年7月現在、バルプロ酸ナトリウム（デパケン、デパケンR、セレニカ、セレニカRなど）とカルバマゼピン（テグレトールなど）が全国的に不足しています。



お薬には先発品と後発品があります。後発品は先発品のコピーをしたもので、安い価格で販売されています。これまでは、有効性や安定供給への懸念からさじ加減の難しいてんかんのお薬では後発品は使用しないことが望ましいとされてきました。しかし、2022年7月現在ではバルプロ酸ナトリウムとカルバマゼピンが不足しており、薬局で確保できなくなってきました。そのため、これらについては後発品を使わざるを得ない状況になってきました。

- 薬局でお薬をもらう時、薬局に次回の受診日をお知らせし、次回のお薬を準備しておいてもらってください。
- 後発品になったことで発作が増えたり強くなったりした場合には、お薬の調整が必要です。すぐに受診するようにしてください。
- 後発品も手に入らない薬局もあるようです。その場合もすぐに受診してください。

クリニックの理念

てんかんのある方、発達が気になるお子さん、そしてそのご家族の方々に寄り添った医療を提供いたします。

ひとりひとりの患者さんにゆっくりと時間をかけて診察を行い、それぞれの患者さんに寄り添いながら、それぞれの人生を伴走するような診療を行ってまいります。

